

仕様書案(Google Chromebook LTE モデル)

1. 件名

群馬県公立学校における 1 人 1 台端末の導入業務

Chromebook(LTE モデル) 導入業務及びモバイル通信サービス

2. 調達目的

全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、令和 2～3 年度に「1 人 1 台端末」と高速通信ネットワークを集中的に整備し、GIGA スクール構想を推進。学校現場では活用が進み、効果が実感されつつある。

一方、1 人 1 台端末の利活用が進むにつれて、故障端末の増加や、バッテリーの耐用年数が迫るなどしており、GIGA スクール構想第 2 期を念頭に、令和 6 年から 5 年程度をかけて端末を計画的に更新する。

また、地方公共団体における効率的な執行等を図る観点から、県域での共同調達を実施する。

3. 調達機種

Chromebook(LTE モデル)

4. 調達台数

25,556 台

(内訳)

- ・ 現用機 22,223 台
- ・ 学校保管の予備機 1,111 台(現用機の 5%)
- ・ 預かり保管の予備機 2,222 台(現用機の 10%)

学校ごとの台数・納期等は様式 4 を参照。

5. 調達方法

- ・ 公募型プロポーザル方式とし、本仕様書案の内容に対する提案書、プレゼンテーション、費用により充足度合いを総合的に評価する。
- ・ 事業者の決定後 事業者は、自治体と契約を締結する。
- ・ 端末本体等は購入し、通信サービス等は利用料を月額で支払う想定。

6. 上限費用

1 台あたり 107,800 円(税込)

- ・ 上限費用を超過した場合でも失格とはならない。
- ・ 提案金額には、本仕様書に記載のすべてに関わる費用を含むこと。

- ・ 端末、周辺機器等、キッティング・納品、保守・保障、モバイル通信費 60 か月分、「オプション」の費用を台数で割った額の合計金額

7. 業務範囲

- ・ 端末本体・周辺機器の調達・提供。
- ・ 端末本体等のキッティング、指定箇所への納品。
- ・ 端末本体等の保守。
- ・ モバイル通信サービス。

8. 端末調達に係る基本的な条件

- ・ 児童生徒が利用するために、教育的効果、身体への影響を考慮した端末を選定すること。
- ・ 法令が遵守された端末を導入すること。また、品質・耐久性と、サプライチェーン・リスクに考慮した端末を選定すること。
- ・ 本事業は、文部科学省「GIGA スクール構想加速化基金」に基づく、群馬県公立学校 1 人 1 台端末等整備基金により実施する。本事業の主旨に沿い業務を実施すること。
https://www.mext.go.jp/content/20240417-mxt_jogai02-000033777_5.pdf

9. 端末の基本仕様

- ・ 文部科学省「学習者用コンピュータ最低スペック基準」を満たすこと。
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_02624.html

10. 端末の特記仕様

- ・ Google Chromebook 本体は、Google の認定を受けた製品であること。(ChromeOS を搭載しても、Google が認定していない製品は対象外)。
<https://support.google.com/chrome/a/answer/6220366>
- ・ OS 更新期限は、納品時点から 5 年以上あること。
- ・ Google Chromebook の MDM は「Google GIGA License」相当とする。
- ・ タッチペンは、本体付属、本体と別製品いずれも可とする。
- ・ 端末の堅牢性・耐久性を確認する観点で、MIL-STD-810H を取得した端末が望ましい。また、堅牢性・耐久性向上の観点で、端末本体のカバー、画面保護フィルムを添付してもよい。

11. 周辺機器等

- ① Web フィルタリングサービス
サービスは「InterCLASS Filtering Service」を利用する。なお、左記以外のサービスに

についても、自治体・学校にとって、より効率的・経済的であり、児童生徒にとって、より教育的効果が高い製品があれば提案すること。初期設定と 60 か月分の利用料を積算すること。

② 教室で充電する備品【オプション】

電源タップ、多ポート USBPD 充電器、USB ケーブルを想定し、小学 1 年生は学級毎に 30 台が同時に充電できる数量、小学 2 年生以上は学級毎に数台が同時に充電できる数量を調達する。学級数は以下を参照して、積算すること。

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/kyoiku/gakumukanrika/gyomu/9/1/4587.html>

12. キットニング・納品の仕様

- ・ 事業者は、自身の事業場等で、開梱・シール添付・フィルム添付・端末のログイン確認等のハードウェアのキットニングを行う。
- ・ 既存の Google Workspace へのプロビジョニング作業を実施する(プロビジョニング作業においては、必要なエンロールメント用アカウントか、Google Workspace 管理コンソールの管理権限を払い出す)。
- ・ 物理 SIM の挿入、eSIM のアクティベートなど、モバイル通信の有効化に必要な作業を実施する。
- ・ 実施後に指定箇所へ納品し、納品後の梱包材等を撤去する。
- ・ 納入時の提出物として、機器の一覧表を作成し、品名・型番・アセット ID・管理番号・シリアル番号等、保守運用管理に必要な情報を提出すること。なお一覧の詳細は、自治体と協議して決定する。
- ・ 自治体・学校にとって、より効率的・経済的であり、児童生徒にとって、より教育的効果が高い方法があれば、選択できることが望ましい。

13. 保守・保障の仕様【一部オプション】

① 予備機管理・運用

- ・ 端末故障時は予備機を払い出す運用として、適切に管理する。
- ・ 1,111 台(現用機の 5%相当)は、学校で管理し、故障時に払い出す。
- ・ 2,222 台(現用機の 10%相当)は、事業者の事業場等で管理する。バッテリー等、端末本体が劣化しないように適切に管理すること。
- ・ 現用機が故障した際、各学校等の連絡に応じて、キットニングし学校へ配送する。
- ・ 故障機は、学校から回収し事業者の事業場等で故障の状態別に保管する。
- ・ 当初の予備機が枯渇した場合は、自治体と協議し故障機を修理して再利用する。
- ・ なお、その際の修理に要する費用は、本調達に含まなくてよい。
- ・ 現用機/故障機/予備機の運用状況を管理し、自治体へ定期的に報告する。

② ヘルプデスク【オプション】

- ・ 自治体及び学校から、端末の故障や運用等に関する問合せを、電話等で受け付ける。
- ・ 問合せ件数は平均 200/月を想定。
- ・ 対応内容
 - ✓ 故障の切分け、端末の遠隔リセットや再エンロールメント等の措置。
 - ✓ 故障機を学校から回収、予備機等を学校へ配送。(予備機管理・運用業務と連携して対応)
 - ✓ 端末紛失時の遠隔ロック
 - ✓ モバイル通信サービス等ネットワークの不具合・劣化状況の受付。(モバイル通信キャリアと連携して対応)
 - ✓ Web フィルタリングサービスの問合せ受付、許可/不許可の設定。(Web フィルタリング提供事業者と連携して対応)
 - ✓ Google Workspace 及びアプリの問合せ受付、設定。(Google Workspace 運用事業者と連携して対応)
- ・ 受付件数、問合せ内容、対応内容を管理し、自治体へ定期的に報告する。
- ・ ヘルプデスクの運営に支障が発生したり、端末等に一齐不具合が発生した際、自治体へ報告し、対応手順等を作成する。

③ 上記の他、端末の保守・保障に関して、事業者は任意に提案すること。

- ・ タッチペンの故障等に備えた対策(予備品の販売、代替方法の提案等)
- ・ 長期利用期間におけるバッテリー劣化を想定した、バッテリー交換サービス。
- ・ 端末本体の故障修理に係る、一般的な費用・期間。(例：画面割れ、画面開閉部分・接続部分の破損、ポートの破損等)
- ・ 自治体・学校にとって、より効率的・経済的であり、児童生徒にとって、より教育的効果が高いサービス等があれば、提案すること。

14. モバイル通信サービス・通信料金の仕様

- ・ 60 か月分のモバイル通信サービスを契約する。
- ・ 現用機 22,223 台、学校保管の予備機 1,111 台(現用機の 5%)は、契約開始時に利用可能な状態とする。預かり保管の予備機 2,222 台(現用機の 10%)は、契約開始時から利用開始としても、学校への配送時に利用開始としてもよい。
- ・ データ量は、自治体を選択する。提供可能なプランを提案すること。
(3GB,5GB,7GB,20GB 等)
- ・ 回線毎のデータ量設定(単回線プラン)、複数回線合計のデータ量設定(シェアプラン)、いずれでもよい。提供可能なプランを提案すること。
- ・ 回線の契約データ量を超過した場合の動作を提示すること。(通信速度制限を適用する、追加料金により契約データ量を増加する等)

- ・ シェアプランの提案の場合、一部回線が大量利用し、他の回線に影響を及ぼすケースを想定した対応策を提示すること。(回線毎のデータ使用量可視化、一定データ量超過時のアラート、任意回線への通信速度制限の適用、制限が適用された児童生徒への別回線提供等)

15. モバイル通信サービス・品質の仕様

- ・ 文部科学省「公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領」を満たすこと。
4.2. 必要なネットワーク速度の確保について
https://www.mext.go.jp/content/20240501-mxt_jogai02-000033777_5.pdf
※同時に1クラス程度(約40台)が接続する場合においても、上記文書の実効通信速度が満たされていること。
- ・ 通信品質は、上記文書の実効通信速度の他、事業者が設定する指標を想定する(パケット応答率、電波強度等)。導入前の通信品質確保に関する取組み、及び導入後の通信品質確保に関する取組みを提示すること。
- ・ 取組みは、以下のようなプロセスを想定する。
 - ✓ 導入時、または随時の品質測定(机上確認、実地測定等)
 - ✓ 常時、または定期的モニタリング等
 - ✓ 品質が劣化または仕様を満たさない場合の対策方針等(増幅器設置による電波強度改善、基地局設置による通信ネットワークの増強等)。
- ・ 品質確保の取組みにあたり、別途料金がかかる場合、その考え方を示すこと。
- ・ 品質確保の取組みにあたり、要する期間を示すこと。

16. 情報の取り扱い

- ・ 事業者は、個人情報や機密情報の管理について、各自治体の規定を遵守するとともに、個人情報の取扱いには十分に留意し、漏洩、滅失及び毀損の防止、その他適正な管理のために必要な措置を講じること。情報セキュリティを確保できる体制を整備するとともに、情報セキュリティ侵害への対策が十分に講じられた環境において、業務を実施すること。
- ・ 個人情報保護の観点から、セキュリティに関する資格(ISMS及びプライバシーマーク)を取得していることが望ましい。

(参考)仕様毎の提案・契約の位置づけ

	提案	契約	補助金(*)
9.端末の基本仕様	仕様書準拠の 提案必須	提示台数を契約	—
10.端末の特記仕様			
本体カバー・画面保護フィルム	任意	任意	対象
11.周辺機器等			
①Web フィルタリング	必須	台数分を契約	対象外
②教室で充電する備品	任意	任意	対象外
12.キitting・納品	必須	台数分を契約	対象
13.保守・保障			
①予備機管理・運用	必須	台数分を契約	対象外
②ヘルプデスク	任意	任意	対象外
③その他	任意	任意	対象外
14.モバイル通信	必須	台数分を契約	対象外

(*)GIGA スクール構想加速化基金の補助対象該否

https://www.mext.go.jp/content/20240417-mxt_jogai02-000033777_5.pdf